

事務事業名		電気小型バス実証運行事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		商業・市街地活性化課	H28係等名	中心市街地活性化係	H27係等名	中心市街地活性化係			
基本計画上の位置づけ		政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり					
		施策	84	活気ある街づくりの推進					
目的	対象(誰・何を)	中心市街地			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	より多くの来街者や観光客が周遊する楽しいまちにする				中心市街地の面積(ha)		151	
	向上させたい上位施策の成果指標	まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	乗客数			5000	10936	8000	-	
	定性目標								
事業概要	<p>JR飯田駅、りんご並木、川本喜八郎人形美術館、飯田市立動物園、飯田市美術博物館などの施設を結び、中心市街地を循環する電気小型バスの実証運行を行う。</p> <p>補足:電気小型バスは、『丘のまちプチバス「ブッチー」』の愛称があり、いいだ人形劇フェスタマスコットキャラクター「ぼお」のペア的なキャラクターである「ブッチー」のキャラクター絵図を車体にデザインしている。また、実証運行のため、乗車運賃は無料としている。乗車定員は1回10名である。</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	<p>1 土日を中心に一日12便の運行を実施</p> <p>2 運行経路の見直し</p> <p>3 車両の修繕(バッテリー交換)</p>				<p>1 (1) 運行回数</p> <p>1 (2) 運行便数</p> <p>2 見直し回数</p> <p>3 修繕回数</p>			<p>1 (1) 90回</p> <p>1 (2) 1,083便</p> <p>2 1回</p> <p>3 1回</p>	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		2,296	3,027	2,917	2,370				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		2,296	3,027	2,917	2,370				
人件費計(千円)②		1,788		1,788					
正規職員所要時間		500		500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		4,084	3,027	4,705	2,370				
事業内容・目標達成状況の振り返り	子ども連れ家族や観光客の乗車が多く、中心市街地の回遊性を高めるとともに、賑わい創出・活性化につながっている。平成27年度にはバッテリーの更新を行った。								
改革改善の考え方	①問題点	実証運行を続けてきたが、当初予想した人数よりも大幅に多い利用実態がある。今後の運行のあり方や方向性を研究し、方針を決定する必要がある。							
	②改革提案	現在の車両の今後の維持や更新も含めた運行方法、将来のあり方について研究を進める。							